

Q22. カリウムが高いとどのような症状が現れ、身体にどのような異常が起こるのでしょうか。

A. カリウム (K) は、重要なミネラルの一つで、神経や筋肉の働きを調節していますが、腎臓の機能が障害され、摂取したカリウムが十分に排泄されなくなると、血液中のカリウム濃度が高くなり、高カリウム血症をきたします。

透析患者さんの場合、血中カリウム濃度の基準値は、3.5～5.5mEq/L とされ、基準値を超えると要注意です。当院では6mEq/L 未満に自己管理するよう勧めています。高カリウム血症になると自覚症状として、全身の筋肉の脱力感、手足や口の周りがピリピリするような異常感覚、便秘などが現れ、数分～数時間の間に不整脈、心停止をきたす場合があります。

カリウムの多い食事を摂り過ぎたり、透析が十分に行われていないとすぐに高カリウム血症が現れます。また大きなケガや高い熱を出し、身体が消耗しているときも高カリウム血症が起こりやすくなるので注意が必要です。

看護師